

■質疑内容（要約版）

No.	質問	回答
1	次年度の工事期間はどうか。	来年度7月頃からを予定し、年度末の完了を目指します。
2	工事中の交通規制はどうか。	一方通行規制は行いますが、通行止めは極力行わないように配慮して進めます。
3	前回のような工期の遅れはないか。	前回の遅延要因（電柱移設等）を教訓に、確実な工程管理を行います。
4	なぜ全線を一方通行にしないのか。	西口駅前線と一方通行にした道路の混雑を防ぐためです。なお、通過交通の迂回誘導により細街路への流入は抑えられると考えております。
5	各工区の延長と事業費を教えてください。	第1工区は246m（約3.8億円）、第2工区は266m（来年度予算約2.7億円）です。
6	相互通行区間と歩通行区間がぶつかる箇所の安全対策はどうか。	安全対策として、当該箇所にて一時停止標識を設置する予定です。
7	第1工区で車が減った理由は何か。	一方通行化による流入抑制の効果です。
8	今回の事業目的は何か。	安全性の向上及び回遊性の向上が主な事業目的です。
9	本日の説明会終了後、HP以外での説明の場は設けるのか。	多くの意見を頂いたため、別途説明の場を設けることを検討します。
10	ストリートファニチャーのデザイン意図は何か。	専門家監修のもと、高低差をつけ多目的な利用を想定した設計とします。
11	横断歩道が設置できない理由は何か。	設置箇所が曲線部となり、視認性が悪化するという安全上の懸念からです。
12	横断歩道撤去後の移動経路はどうか。	一方通行区間を横断後、西側の新設横断歩道を利用する動線となります。
13	市道40137号線カーブ部の横断歩道の存置を要望する。	今回の説明会で多くの要望をいただいたため、設置に向けた警察との協議を行います。
14	ピーク時の調査結果を確認したい。	交通量調査の詳細な結果については、開示請求をしていただければ対応させていただきます。
15	アンケート実施については、第三者機関に委託すべきではないか。	今後アンケートを実施する場合は、第三者機関への委託も検討します。
16	回遊性向上の目標値は何か。	歩行者通行量の増加、利用者アンケート調査での印象向上、沿道地価の上昇、税収の増加等が挙げられます。
17	第2工区の舗装デザインはどうか。	第1工区と同様、白基調のアスファルトに張り替える予定です。
18	計画全体の見直しを行う考えはあるか。	現時点においては、計画全体の見直しは考えていません。
19	第1工区での事故実績はあるか。	警察からデータを受領していないため、現在は把握していません。
20	こもればストリートでのイベント活用事例が少ないのではないか。	今後、民間企業と協定を結び、広場と一体的な利活用を促進する予定です。

No.	質問	回答
21	第2工区も予算超過の懸念があるか。	予算内に収まるよう管理を徹底します。
22	ハンプ（段差）等その他の減速方法は考慮しているか。	騒音・振動等の課題があるため、今回はスラローム形状による減速方法を採用しました。
23	周辺道路の混雑悪化の懸念があるのではないか。	一方通行化により一部交差点の交通需要は増えますが、渋滞は発生しないという推計結果が出ています。
24	ベンチから車道部への飛び出しが危ないと感じる。	ベンチ等の配置については、安全性を考慮しながら調整をしていきます。
25	現時点での主な移動ルートと、整備計画の動線に乖離があるのではないか。	歩道の拡幅や空間利活用により、全方向への移動しやすさとエリア全体の回遊性向上を図る計画としております。
26	温浴施設前の道路（市道28060号線）の路肩が狭く、危ないと感じる。	安全対策を熟慮し、警察等にも働きかけを行うことを考えています。
27	イベント時の設置物が邪魔になり、回遊性が下がるのではないか。	イベントの開催に当たっては、歩行者の通行スペース確保を条件とします。
28	警察協議を通じてより安全性を担保できる設計に修正してほしい。	安全な道路設計の参考にさせていただきます。
29	計画の透明性と安全性を高めるため、有識者を交えた協議検討を求める。	今後の検討の参考といたします。
30	横断歩道設置に関わる、警察・市のそれぞれの役割分担を確認したい。	警察は安全性を主眼として設置判断を行い、市は設置を依頼する立場にあります。
31	「市野谷の森」まで緑化事業を継続し、一体的な回遊動線を整備してほしい。	まちなみづくり指針に基づき、将来的には一連の回遊動線形成を目指す方針です。
32	第一工区竣工後の周辺交通状況を教えてほしい。	一方通行化に伴い一部交通量が増えた箇所もありますが、全体的な交通量は減少傾向となっています。
33	害鳥（ムクドリ）対策についてはどう考えているか。	現状の追い払い作業に加え、鳥が留まりにくい対策を実施していく考えです。
34	市道28059号線と市道28060号線の往来は可能か。	一方通行となる道路と接続する細街路については、従来どおり車両の往来が可能な計画としております。